

# 私を変えてくれた剣道

高知県

土佐町少年剣道

中学3年 光 富 歌

小学生の時から、私を励まし、引っ張ってきてくれた先輩が、

「中学校でも一緒に剣道をやろう！」

と、声をかけてくれました。でも、私は自信がなく、先輩たちに甘えて積極的な稽古はしていませんでした。部員が不足し団体には出してもらいましたが、チームの足を引っ張るばかりで、迷惑をかけていました。そんな私に先輩たちは何も言わず優しく励ましてくれていました。

先輩たち三年生の最後の県体が近付くにつれて、先輩たちの稽古は変わっていきました。ものすごい気迫と心の強さ。その稽古に取り組む姿を見て、私は自分の間違いに気付きました。でも、三年生はその後すぐに引退してしまいました。

もう、甘えることはできない。稽古に集中し、小さかった声もだんだんと出せるようになりました。

二年生になって、さあこれからという時に、学校は新型コロナウイルスで休校になり、再開しても練習時間は短縮されました。そんな中、私たちは「一日一日を大切に、一振り一振りを大切にしよう。」と日々の稽古に取り組みました。

三年生になり新チームがスタートしました。ここの先生が変わり、少年剣道の先生が外部指導に来てくれて、最後の県体に向け集中して稽古に取り組みました。でも、なかなか勝てない状況が続き、県体会を迎えました。大会前に先生が言われた言葉は、

「団体は絶対に大将まで回さなければだめだ。

代表戦になったら絶対に負けないこと。朝までやるつもりでやれ。」  
でした。

最後の県体、私は大将、一回戦から大将戦となり、一本勝ちで代表戦。準々決勝も大将戦、二本勝ちしないといけない状況で何とか二本を取り、再び三位をかけた代表戦になりました。その時私は、「絶対に負けない」と自分に言い聞かせて試合にのぞみました。以前の私だったら「もうダメ、負ける」という気持ちが前に出ていたと思います。でもその日の私は、以前の私ではなくなっていました。「ぜったいに諦めない。チームでやってきたことを無だにしたいくない。」という気持ちが、イメージした動きとなり、自分がバシッとハマった瞬間、

「小手あり！」

面しか打たなかった私が無心で打った小手でした。チームのみんなと喜びあったその時、今まで剣道を続けてきて初めて嬉しくて楽しいと思いました。その時私は、「自分が変わった」と実感しました。

これまで、剣道を続けてこられて、自分を変えることができたのは、ずっと応援してくれて支えてくれた家族や地域の人たち、勝つことよりも真っすぐに取り組む姿勢の大切さを教えてくれた先生方、人に対する思いやりの大切さを教えてくれた仲間。そして、私に変わるきっかけを教えてくれた先輩たちがいたからだと思います。

私は、剣道で学んだことを大切にして、これからも次の目標に向けて努力を続けていきたいと思っています。